

## 障害を抱える子どもたちの将来の仕事づくり『折り畳み式ごみかご』 沼津市自治会連合会の皆さまにご紹介します

### 要 旨

本市では、「民間支援まちづくりファンド事業」により、地域に人のつながりを生み出す取り組みやその拠点となる交流の場づくりなどの支援を行っております。

この度、令和4年度の採択事業「障害を抱える子どもたちの将来の仕事づくり」による折り畳み式ごみかごの試作品が完成しましたので、9月度自治会連合会定例会にてご紹介します。10の自治会で先行導入を行い、得られたご要望・ご意見を参考に、製品改善に生かす取り組みです。

### 概 要

1 日 時 9月16日(金) 13時30分

2 場 所 沼津市役所 8階 801・802 会議室  
(9月度 自治会連合会定例会にて)

3 内 容

近年、本市ではごみ集積場所にカラス等のエサとなるようなごみの飛散被害防止を目的に、ごみ収納かごの設置を推奨しております。ごみ収納かごは、製品の構造がそれほど複雑ではないことや、ネットの補強作業や枠に留める作業などが、子どもたちがそれまで支援学校で学んできたスキルを生かすことができるため、これまで製作手順や素材の検討に取り組んできました。自治会の皆さまに製品をお使いいただくことで、地域の方々の障害理解を深めるとともに、子どもたちの社会的自立へ「仕事づくり・居場所づくり」を目指しています。



### お問い合わせ先

沼津市役所 企画部 地域自治課  
直通:055-934-4807 内線:2282



Press Release

報道関係者 各位

令和4年9月9日

カフェと工房ぼくの色 代表

障害者のしごとを考える母の会 代表

沼田 潤

## 沼津市自治会連合会の皆さまへの 「折り畳み式ゴミかご」の披露と試用のお願い

令和4年度 沼津市民間支援まちづくりファンド採択事業「障害を抱える子どもたちの将来の仕事づくり」で「折り畳み式ゴミかご」の製作に取り組んでおります。

この度、完成した試作ゴミかごをご披露し、地域の皆さま方によるご試用と、お使いになって感じられたご意見・ご要望をお教えいただくお願いのため、沼津市自治会連合会様の常任委員会を訪問することになりましたので、ご案内します。

日 程： 9月16日（金）13時30分頃

場 所： 沼津市役所8階 801・802会議室

内 容： 地域の方々へのゴミかご披露と試用のお願い

その他： 詳細は当日配布予定の添付チラシをご覧ください

[お問い合わせ] 沼田（TEL：090-4194-4499）

# 「折り畳み式ゴミかご」試用のお願い

令和4年9月16日

カフェと工房ぼくの色 代表

障害者のしごとを考える母の会 代表

沼田 潤

TEL: 090-4194-4499 FAX: 055-929-6040

障害を抱える子を持つ母たちを中心とする団体として 令和4年度沼津市民間支援まちづくりファンド採択事業「障害を抱える子どもたちの将来の仕事づくり」で取り組んできた「折り畳み式ゴミかご（試作版）」10個（大：5、中：5）の完成にあたり、地域の皆さま方のご試用をいただきたく、お願いに参りました。

ご試用によりお感じになられたご意見・ご要望などをいただいた際は、2023年春からの提供を予定している製品版の仕様に反映してまいりたいと考えております。地域の皆さまの生活のお役に立てることを願い、親子で一生懸命取り組んでまいりますので、大変恐縮ではございますが ご協力のほど よろしくお願いいたします。

設置時の形状



試作したゴミかごの仕様

	サイズ	
	大	中
幅	190cm	170cm
奥行き	80cm	60cm
高さ	80cm	
重さ	9Kg	8kg

折り畳み時の形状



子どもたちの作品を使用した銘板



## 個々の特性に応じた仕事づくりを進めています

子どもたちが通う特別支援学校で学ぶスキルを活かしながら正確で効率的な作業ができるよう、手順の検討や治具の製作をしています。まずは母たちが環境を整えて製作にあたり、子どもたちや地域にお住まいの障害を抱える方々に働き手の役割を引き継いでいきます。

部材カット



枠の組立



塗装



ネット張り



## 製品を通じた地域の皆さまとの交流を願っています

製品をお使いいただくことに加えて、地域の皆さまに働き手の姿を見ていただくことや仕事を通じた交流が行えればと考えております。そうした考えのもと、納品後の1年後と2年後に設置場所に伺い、無償のメンテナンス作業（製品の清掃・銘板の交換・必要に応じたネットの補修など）を行う検討をしています。

### 障害者のしごとを考える母の会

2017年に設立した特別支援学校の在校生・卒業生などの母親を中心とする団体です。子どもたちの将来の役割・仕事・居場所づくりに取り組んでいます。2018～2021年のまちづくりファンドでは、子どもたちの創作・体験活動の他、母たちが資料作成やデザイン等のスキルを習得する支援をいただきました。各所で「心のままアート展」を開催しています。

### カフェと工房ぼくが色

将来の子どもたちが働く場の一つとなるよう2018年に開業した個人事業です。2022年度のまちづくりファンドでは、これまでの活動でスキルアップした母たちが折り畳み式ゴミかごの製作に取り組んでいます。自閉症の息子と一緒に企業等に伺って珈琲やチョコレートの移動販売をしている他、子どもたちの作品の商品化やお仕事体験なども行っています。